



# ちいきあんぜん 茨城

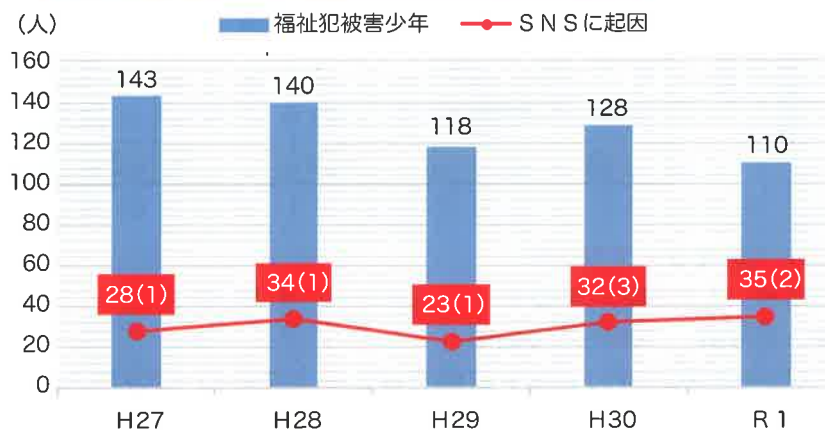
発行  
 公益財団法人 茨城県防犯協会  
 茨城県風俗環境浄化協会  
 ホームページ  
<https://ibohan.jimdofree.com>  
 水戸市千波町1918番地  
 茨城県総合福祉会館内  
 電話・FAX 029-303-5260  
 印刷 コトブキ印刷㈱

## ストップ・ザ・子供のSNS被害

スマホは便利な反面、SNSに起因して、子供が家出や深夜はいかい等の不良行為に走ったり、児童買春や児童ポルノ等の犯罪被害に遭う危険性が潜んでいます。

子供がインターネットを利用する場合は、ご家庭でよく話し合い、保護者が年齢に応じたフィルタリング設定を確実にを行い、子供の利用状況等を適切に把握・管理しましょう。

### 被害少年の推移（過去5年間）



※ 福祉犯とは、児童買春・児童ポルノ禁止法違反など少年の心身に有害な影響を与え、少年の福祉を害する犯罪をいう。括弧内は、誘拐や強制わいせつ等の重要犯罪等の被害を示す。

### 【令和元年中の特徴等】

- 福祉犯被害少年110人のうち、SNSに起因して犯罪被害に遭った少年は**35人** (過去5年で最多)
- 学職別では、中学生(18人)、高校生(17人)で全て女子
- 罪種別では、児童ポルノ(18人)が最多、青少年健全育成条例(10人)、児童買春(2人)の他強制わいせつや略取誘拐による凶悪犯被害(各1人)も発生
- 過去には、**男子中高生が被害**に遭った事件も発生



### SNS被害から自分を守る3つの約束

- 1 SNSで知り合った人と直接 **「会わない」**
- 2 住所や名前など個人情報を **「載せない」**
- 3 自分や友達の写真を **「送らない」**

茨城県警察YouTube公式チャンネルにて公開中!



### 少年相談コーナーを活用しましょう

QRコードはコチラ→



県警察では、少年サポートセンターや警察署に子供や保護者等を対象とした少年相談窓口を設け、非行やSNSトラブル等少年問題に関する相談を受け付けています。

また、学校訪問やネット配信による児童生徒対象の非行防止教室等を行っています。



【相談時間】平日8:30～17:15の間(夜間・土日祝日は警察本部当直対応)  
少年サポートセンター

(水戸) 029-231-0900 (まるくおさまる) (つくば) 029-847-0919 (まるくいく)

Eメール: keishonen@pref.ibaraki.lg.jp

# 令和2年6月末の刑法犯認知件数

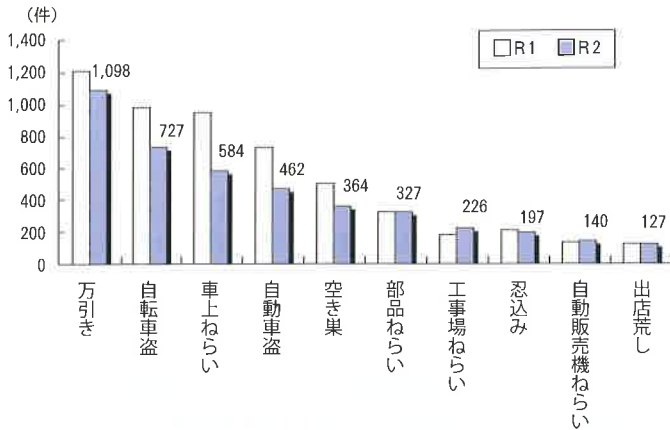
## 1 包括罪種別

区分	令和2年6月末						
	刑法犯総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
認知件数	8,492	51	504	6,455	303	54	1,125
前年比	-1,567	-11	-132	-1,338	-40	9	-55
増減率(%)	-16	-18	-21	-17	-12	20	-5

### 【包括罪種の区分】

- ・凶悪犯：殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝等
- ・窃盗犯：乗り物盗、(非)侵入盗等
- ・知能犯：詐欺、横領、汚職等
- ・風俗犯：賭博、わいせつ等

## 2 窃盗犯の主な手口



### 【特徴等】

- 令和2年6月末の刑法犯総数は、**8,492件**（前年比**-1,567件**）  
包括罪種別では、窃盗犯が**6,455件**（前年比**-1,338件**）で最多
- 罪種（手口）別では、**万引き**が**1,098件**（前年比**-106件**）で最多  
※増加数最多は、**工事場ねらい+38件**（認知件数**226件**）、減少数最多は、**車上ねらい-357件**（認知件数**584件**）
- ニセ電話詐欺は、**170件**（預貯金**60件**、キャッシュカード詐欺盗**52件**）で前年に比べ**15件**の減少  
被害額は、**2億3,366万4千円**で、前年比**7,073万円**減少  
\*被害額：キャッシュカード手交型及びすり替え型におけるATM引出（窃取）額を含む

## 3 ニセ電話詐欺

	認知件数	増減数	被害額(千円)
オレオレ	24	-10	49,125
預貯金	60	-14	52,144
架空料金請求	20	-7	36,630
還付金	8	0	6,464
融資保証金	5	2	4,646
その他	1	0	1,250
キャッシュカード詐欺盗	52	14	83,405
合計	170	-15	233,664

# 令和2年6月末の交通事故死者数39人(高齢者が約6割)

## 全国との比較

### ★交通事故死者上位都道府県

順位	都道府県	死者数	前年比
1	愛知	76	+16
2	神奈川県	71	+4
3	東京都	64	+10
4	大阪府	63	+6
5	埼玉県	58	-3
6	千葉県	57	-10
7	静岡県	54	+5
7	北海道	54	+1
9	兵庫県	49	+2
12	茨城県	39	-16

### ★人口10万人当たり

順位	都道府県	死者数
1	香川県	2.93
2	佐賀県	2.70
18	茨城県	1.36
	全国平均	1.07

※人口  
R1/10/1現在

### ★自動車1万台当たり

順位	都道府県	死者数
1	香川県	0.35
2	佐賀県	0.32
31	茨城県	0.15
	全国平均	0.16

※自動車台数  
R1/12/31現在  
小数点第2桁以下まで参照

※全国の死者数1,357人 対前年比 -61人 (-4.3%)



令和2年度通常理事会・定時評議員会開催中止に伴い書面決議

茨城県防犯協会は、5月21日(木)開催予定の通常理事会及び6月5日(金)開催予定の定時評議員会を、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催中止と致しました。

これに伴い、「令和元年度事業報告」「令和元年度収支決算報告」及び「役員を選任」等の議案については、書面決議をもって議決されました。

また、今回の役員改選により、評議員は伊東功雄氏、押野一好氏、野田富夫氏の3名が退任され、新任の評議員に

渡辺左右司氏(鉾田地区) 堀江 寿明氏(筑西地区) 田崎 力男氏(牛久地区)

が選任されました。理事は中川清氏、倉田豊二氏、栗山芳夫氏の3名が退任され、新任の理事に

山口伸樹氏(茨城県市長会長・笠間市長) 小島友治氏(前県防犯協会専務理事)

中川智雄氏(常総地区)が選任されました。

その後、理事全員の同意により、人見理事長、川又副理事長が再任され、山口伸樹氏が副理事長に選任されました。

茨城県防犯協会新役員(敬称略)

Table with 3 columns: Position (e.g., 理事長, 副理事長), Name, and Status (e.g., (再任), (新任)).

防犯協会だより

☆第42回地域安全茨城県民大会開催中止について

10月9日(金)、水戸市内のザ・ヒロサワ・シティ会館において開催予定でありました第42回地域安全茨城県民大会については、県、警察本部等関係機関と協議した結果、今回の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮し、今年度の開催は中止することとなりました。

大会において表彰伝達の予定であった、功労のあった防犯ボランティア団体及び個人の表彰・記念品等については、各警察署に送付し、各地区の実情に応じた方法で伝達していただく予定です。

☆防犯ポスターコンクール・地域安全マップコンクールの中止について

小学生や中学生を対象にして実施していただきました防犯ポスターコンクール及び地域安全マップコンクールについては、警察本部、県教育庁等の関係機関と協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休みの短縮等による、児童・生徒及び教育現場の負担軽減等諸事情を考慮し、今年度の開催は中止することとなりました。

活躍しています

☆水戸地区防犯協会がニセ電話詐欺被害防止動画を作成

水戸地区防犯協会は、水戸署、水戸市、(株)茨城ロボッツ、茨城交通(株)等と連携し、ニセ電話詐欺被害防止動画を作成しました。水戸市公式YouTubeチャンネルで公開されており、観光バスでも観光客に放映される予定で、広くニセ電話詐欺被害防止の広報啓発を図っています。



☆行方地区で、四種類の「のぼり旗」を制作

行方地区防犯協会と行方署が協力し、署員がデザインした四種類ののぼり旗を制作しました。



のぼり旗は、小学校や公共施設、事業所等に掲げてもらい、キャンペーンで使用する予定です。

☆土浦地区セーフティマイタウン  
チームの活動が小学校道徳教  
科書に掲載

日本文教出版社が出版した令和2年度版小学六年生道徳教科書(生きる力)で、「自分を守る力について考えてみよう」の授業の挿入写真に、土浦地区セーフティマイタウンチーム(立野代表)が土浦市立上大津東小学校で実施した防犯教室の写真が掲載されました。



☆大学生サポーターがSNS被害  
防止パトロール活動

県警から「県警大学生サポーター」の委嘱を受けた大学生サポーターが、7月20日(月)、全防連から助成を受けて制作した、腕章やベストを着用して、水戸駅周辺の防犯パトロールを実施し、SNS被害防止の高揚に努めました。



☆稲敷地区防犯協会が新型コロナウ  
イルス関連の犯罪防止等を内容と  
するチラシ及びポスターを作成

稲敷地区防犯協会は、稲敷署と連携し、新型コロナウイルス関連の犯罪防止等を内容とするチラシ(2万枚)及びポスターを作成しました。チラシは回覧板を利用して管内各家庭へ配布し、ポスターは金融機関やスーパー等に掲示を依頼して、広く犯罪被害防止の浸透を図りました。



☆高萩地区防犯協会女性部が手作  
りの布マスクを高萩警察署に寄贈

高萩地区防犯協会女性部(平子部長)は、手作りの布マスク150枚を作成し、高萩警察署に寄贈しました。菊池署長からは、「本当にありがたい」と感謝されました。



☆日立地区セーフティマイタウン  
チームが防犯パトロールを実施

日立地区セーフティマイタウンチーム(渡部代表)は、6月14日(日)日立銀座モーターで開催された二十三夜尊縁日において、チラシやティッシュなどを配布しながら、ニセ電話詐欺等被害防止の声かけや防犯指導を行い防犯意識の高揚に努めました。



☆県防犯協会女性部長が手作りの  
ポケットティッシュユカパーを下妻警  
察署に寄贈

県防犯協会女性部の川井部長は手作りのポケットティッシュユカパー1500個を作成し、地元の下妻警察署に「キャンペーンなどで活用してください。」と寄贈しました。富澤署長からは「ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と感謝されました。



賛助会員募集

公益財団法人茨城県防犯協会では、犯罪のない明るい社会を目指す各種事業を展開しておりますが、当協会の活動に賛同していただける法人・個人の賛助会員を広く募集しております。賛助会員は一口一万円以上となっております。詳しくは公益財団法人茨城県防犯協会 029130315260 までお問い合わせ下さい。



編集後記

今年は、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、地域安全茨城県民大会や防犯ポスターコンクールも中止となりました。防犯ボランティアの皆様の活動も、感染防止対策を取り入れながら、取組を実施しなければならぬ厳しい状況となっております。無理をしない、出来る範囲での活動を、どうかよろしく願います。今月号は、「ストップ・ザ・子供の被害」と題して、SNS被害の実態と防止方策などについて特集しました。子供たちを少年を犯罪から守りましょう。